



第 84 卷 総 目 次

平成 13 (2001) 年

【論 説】

荷前別貢幣の成立……………	吉	崇…一（一）
「トロイアの木馬」と市民社会……………	北	史…一（三三）
近世ロンドンの教区における救貧……………	宮	剛…一（六六）
修験道成立の史的前提……………	徳	子…一（九七）
王政復古への政治過程……………	高	直…二（一六五）
中世ブラーバントにおける系譜的歴史記述と民族意識……………	青	紀…二（二〇二）
末期ビザンツにおける総主教と皇帝……………	橋	之…二（二三六）
新四国借款団と国際金融家……………	酒	臣…二（二六八）
奈良時代の鬼面文鬼瓦……………	岩	子…三（三二九）
フラウィウス朝の成立とローマ帝国東部……………	桑	文…三（三六九）
一七〇九年イエズス会士レジスの沿海地方調査……………	松	茂…三（四〇五）
一九世紀中葉における鉄道建設とケルン市民層……………	棚	明…三（四三七）
バトゥミの出稼ぎケリア人……………	伊	二…四（五〇三）
平安時代における皇統意識……………	岡	子…四（五三七）
近世初期ケルンにおける救貧制度改革とその展開……………	櫻	幸…四（五七一）
清代モンゴルのイフシャビに対する法律の適用……………	萩	守…四（六〇二）
室町幕府の「御料所」納銭方支配……………	田	子…五（六五一）

サン・マルコ財務官と中世ヴェネツィア都市民……………	高田京比子…五(六八四)
八・九世紀トスカーナ地方南部の土地貸借文書……………	西村善矢…五(七二六)
清代加級考……………	大野晃嗣…六(七九五)
鈴印の保管・運用と皇権……………	加藤麻子…六(八三〇)
近世ヴェネツィアの貴族階級における新家系の成立……………	藤内哲也…六(八六六)
マリン・ポリスと港湾労働者の世界……………	林田敏子…六(八九九)

【研究ノート】

日明関係における「勘合」……………	伍 躍…一(一二四)
スイジスターンの「ハワーリジュ」とは何か……………	余 部 福 三…五(七五〇)
「協力内閣」構想と元老西園寺公望……………	小 山 俊 樹…六(九三三)

【資料紹介】

京都府相楽郡山城町椿井天上山の測量調査……………	京都大学大学院文学研究科考古学研究室 京都橘女子大学文学部文化財学科埋蔵文化財(考古学)コース…二(二九八)
--------------------------	---

【書 評】

新村祐一郎著『古代スパルタ史研究——古典期への道——』……………	中 井 義 明…一(一四四)
服部春彦・谷川稔編『フランス史からの問い』……………	青 金 中 本 澤 谷 真 周 秀 生 子…一(一五〇)

北條芳隆・溝口孝司・村上恭通著

『古墳時代像をみなおす——成立過程と社会変革——』……………河野 一 隆…二(三〇九)

舘野和己著『日本古代の交通と社会』……………鈴木 景 二…三(四七五)

黄暎芬著『中国古代葬制の伝統と変革』……………宇野 隆 夫…三(四八二)

籠谷直人著『アジア国際通商秩序と近代日本』……………小 瀬 一…三(四九〇)

和田光弘著『紫煙と帝国——アメリカ南部タバコ植民地の社会と経済——』……………大 西 直 樹…四(六三〇)

中山昭吉・松川克彦編『ヨーロッパ史研究の新天地——ポーランドからのまなざし——』……………福 嶋 千 穂 五(七七一)

……………福 嶋 千 穂 五(七七一)

伊藤之雄著『立憲国家と日露戦争——外交と内政 一八九八—一九〇五——』……………小 林 道 彦…五(七七九)

【紹介】

ジェフエリー・S・ネイサン著『古代後期における家族』……………坂 野 友 香…二(三一八)

ヘレン・G・サラードイ著『ユステイニアヌス朝から一九世紀までのギリシアの公証人と証書』……………高 田 良 太…四(六三七)

——巻一 ビザンツ帝国の公証人制度(六一—一五世紀)——……………高 田 良 太…四(六三七)

元木泰雄著『平清盛の闘い 幻の中世国家』……………佐 伯 智 広…四(六三九)

秋山進午著『東北アジア民族文化研究』……………廣 川 守…五(七八七)

【訃報】

本会元理事長 藤縄謙三先生を偲ぶ……………二(三二一)

本会元理事長 小葉田淳先生を偲ぶ……………六(九五四)

【会 告】

平成十二年度史学研究会大会・総会の報告、講演要旨……………	一	(一五七)
(秋山進午「近年、東北アジア考古学研究の進展」・礪波護「山陽と湖南」)		
理事・評議員会報告……………	四	(六四三)
史学研究会役員……………	四	(六四四)